一般社団法人

育ちとつながりの家ちとせ

京都府亀岡市千歳町国分下ノ川 51

2025 年度事業報告書

（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

2025 年度事業報告書

１．2025 年度事業の成果

2025 年度は、４つの交付金に採択された。以下３．にて詳しく報告する。

昨年に引き続き、子や若者の引きこもり、不登校、行き渋り増加という社会問題に対して又は予防策として、さらに発達障害等の生きづらさ、育ちづらさを抱える子や若者を対象に①～④の事業を行った。

⑤では、子どもたちが共に成長する環境づくり、学校以外の居場所づくりに取り組んだ。さらに、⑥～⑩では母子家庭の子どもたち、保護者への支援を行った。

① フリースクール事業
② 各種セッション、プロジェクト、学習支援などの療育事業
③ 発達コンサルティング、カウンセリング、アドバイザリー契約などの相談事業
④ 保護者・支援者を対象とした講座開催事業
⑤ [地域交響プロジェクト事業]
  A) 日中体験活動（体験学習、みんなで寺子屋〔無料〕、遊具で遊ぼう〔無料・有料〕）
  B) 放課後活動（みんなで寺子屋〔有料〕、コミュニケーションカフェ、コミュニケーションカフェ〔無料〕、特別ワークショップ
  C) 休日体験教室（自然体験教室、科学実験教室、学校でかくれんぼ）
⑥ [きょうとこどもの城づくり事業]開設準備
⑦ [きょうとこどもの城づくり事業]ひとり親家庭のこどもの居場所づくり事業休日等通年型（フリースクール事業、放課後の居場所、夏休みオープンスクール）
⑧ [きょうとこどもの城特別体験活動支援事業]（YOASOBI☆バーベキュー＆キャンプ体験、肝試し＆花火大会、夏祭り）
⑨ [きょうとこどもの城づくり事業]宿泊体験（七谷川キャンプ宿泊体験、芦生山の家宿泊体験）
⑩ [ひとり親家庭の子供の居場所を通じた食料品・生活必需品当配布事業に関わる運営業務]
⑪ スタッフ研修
⑫ 外部連携

①では主に遊び、体験活動、学習、グループワークを通じてソーシャルスキルトレーニングや身体のワーク、認知トレーニング、基礎学習等を応用行動分析学に基づいた療育的支援として提供した。その結果として、将来社会につながり安定した生活を送り、自己実現や社会活動を行うことができる基盤が積み上げられている。

②では個人セッション、小集団セッション、セッションコンサルティング、キミの応援団プロジェクトを実施した。個々の課題に適したプログラムをマンツーマンで実施し支援を行った。

今年度より起立性障害等の症状によりフリースクール活動への参加が不安定になっている利用者に対し、放課後ヨガ等を実施し心身の調整を図るプログラムを開始した。

③では相談事業では保護者に家庭での関わり方を伝え、子への適切な関わりを継続して行えるよう支援を

行った。
④では「凸凹さん育児保護者サークル・pono」主催の月 1 回の講座「“気になる子”への関りがぐっと楽になる！～神経発達省支援の視点から学ぶサポートのヒント」を開講し、保護者が家庭での支援者となれるよう育成に取り組んだ。
⑤-A 会員外の方にも参加しやすいように体験日を設けた。また、「みんなで寺子屋」「感覚統合セッション（遊具で遊ぼう)」を実施した。
「みんなで寺子屋」では、勉強に躓きがある子に特化して、基礎学力定着の取り組みを行った。
「感覚統合セッション（遊具で遊ぼう)」では、感覚統合遊具を使って感覚統合、身体の軸を作る、身体の可動域を広げる、コミュニケーションを育てる活動を実施することができた。
-B「コミュニケーションカフェ」では学校以外の安心安全な居場所づくりとして、放課後の時間帯に当法人の場を開放した。
「コミュニケーションカフェ特別ワークショップ」では身近な方に講師になってもらうことで、いつでも適切な支援を受けることができる安心安全の環境設定で参加への心理的障壁を減らす場を提供した。
-C 地域の人達に講師になっていただき、実践的な活動を通して子どもたちが地域とつながっていく体験活動を実施した。
⑥～⑨畳の入れ替え、エアコンの設置を行い、より快適に過ごせる環境を整えた。
ひとり親家庭を中心に夏休みの子どもたちの居場所を開設した。調理、夏祭りの企画実行、肝試し、宿泊体験を開催した。
⑩対象者に物品の配布を 2 度おこなった。延べ 11 家庭（のべ 31 名）に配布することができた。
⑪引き続き丹野氏に事業のアドバイス、助成金の申請のサポートをしていただいた。
プレイセッション指導員養成として月に一度の個々のプログラム作成のための会議、EnRich 合同会社中川瑛三氏にコンサルに入っていただき、より子どもたちの困りに直結して取り組めるようにオンライン研修を行った。
月に一度のスタッフ連携会議、SI 連携会議を行った。
⑫引き続き各小中学校、京都府家庭支援総合センター、京都府子育て支援団体認証を受け、広域的・中間支援的な見地から子育て支援の取り組み、様々な団体との横断的な連携に取り組んでいく。
きょうとこどもの城づくり事業（ひとり親家庭の子どもの居場所づくり事業）実施に係る運営事業の委託を受けることにより、ひとり親家庭、経済的に不安定な家庭に対し、幅広く支援することが可能となった。

２．事業の実施状況
参加者数について以下に記述する。

I. フリースクール事業　参加延べ人数　子ども 1,948 名　大人 526 名　合計：2,484 名
- 体験参加：のべ　対象者　2 名/保護者　2 名
- フリースクールコース（週 3，4）　：のべ　対象者　1,385 名（登録者　10～12 名）
- フリースクールコース（週 1，2，その他）：のべ　対象者　184 名（登録者　5 名程度）
- 引きこもりサポートコース　：のべ　対象者 234 名（登録者　11 名）
- 親子通園コース　：のべ　子ども 158 名（登録者　1～2 名）

II. 各種セッション、プロジェクト、学習支援などの療育事業

・感覚統合セッション　：のべ　子ども 148 名（登録者 17 名）
・キミの応援団プロジェクト　：のべ　子ども 61 名/大人 29 名（登録者　13 名）
・個人セッション　：のべ　子ども 217 名（登録者　13 名）
・セッションコンサルティング　：のべ　子ども 41 名（登録者　5 名）
・視機能検査・報告・トレーニングプラン作成　未実施
・小集団セッション（全 12 回）　：のべ 48 名（登録書 4 名）

III. 発達コンサルティング、カウンセリング、アドバイザリー契約などの相談事業

・発達コンサルティング　：のべ　大人 63 名（登録者　13 名）
・カウンセリング　：のべ　大人 57 名（登録者　13 名）
・初回カウンセリング　：のべ　大人 6 名
・集中介入　：のべ 1 世帯

IV. 保護者・支援者を対象とした講座開催事業（pono 主催）

・“気になる子”への関りがぐっと楽になる！～神経発達省支援の視点から学ぶサポートのヒント
通年講座　全 11 回　受講者数：前期 20 名/後期 19 名/単発 4 名

V. 地域交響プロジェクト　：のべ参加人数 3,376 名

① 日中体験活動
1. 実践的な体験活動　12 回実施　：のべ 110 名
2. みんなで寺子屋（無料）　150 回実施　：のべ 1848 名
3. 遊具で遊ぼう（無料）　150 回実施　：のべ 750 名
4. 遊具で遊ぼう（有料セッション）　50 回実施　：のべ 110 名

② 放課後活動
1. みんなで寺子屋（有料）　36 回実施　：のべ 86 名（登録者 4 名）
2. 英語寺子屋（有料）　18 回実施　：のべ 52 名（登録者 3 名）
3. コミュニケーションカフェ　41 回実施　：のべ 369 名
4. コミュニケーションカフェ特別ワークショップ　4 回実施　：のべ 26 名

③ 休日体験活動
1. 自然体験活動（協力：芦生山の家）　：のべ 26 名（13 名）
2. 科学教室（協力：京都科学技術士会理科支援チーム）2 回実施　：のべ 31 名
3. 学校かくれんぼ　のべ：20 名

VI. ひとり親家庭の子どもの居場所づくり事業、特別体験活動

・フリースクール体験　38 回実施　：のべ　483 名
・放課後の居場所　38 回実施　：のべ　380 名
・夏休みオープンスクール　12 回実施　：のべ　130 名
/のべ世帯数 478 世帯（うちひとり親家庭 264 世帯）

児童数 963 名（うちひとり親家庭 291 名）
登録者数 22 世帯（うちひとり親家庭 6 世帯）
児童数 29 名（うちひとり親家庭 8 名）

・七谷川キャンプ場宿泊体験　：幼児～中学生　18 名、保護者　6 名
・芦生山の家宿泊体験　：幼児～中学生　15 名、保護者　3 名

VII. ひとり親家庭の子供の居場所を通じた食料品・生活必需品当配布事業に関わる運営業務

・配布　2 回実施　：のべ 11 世帯（31 名）/配布実数　7 世帯（21 名）

事業の詳細について以下に記述する。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者数	受益対象者居住地
体験参加	・スクールの活動の見学・体験 ・支援に繋がりたい方々に広く門戸を開くもの	4 月～翌年 3 月の月火木金	亀岡市 南丹市	5 名	亀岡市 南丹市 京都市 向日市
フリースクールコース	不登校・行き渋り等の子ども達が、遊び・作業・コミュニケーション・学習など様々な活動を通して、社会で生きる土台を作る	4 月～翌年 3 月の月火木金	亀岡市 南丹市 京都市	5 名	亀岡市 南丹市 京都市 向日市
引きこもりサポートコース	社会での居場所がみつけにくい、人と交流が難しいなどにお困りの人が、日中に活動できる場所・活動を保障し、スクール生や療育的利用コース生と共に活動することで外で活動する意欲を持つ	4 月～翌年 3 月の月火木金	亀岡市 南丹市 京都市	5 名	亀岡市 南丹市 京都市 向日市
親子通園コース	発達課題を持つ就学前のお子さんが親子で通い、小学校入学後の集団生活を見越して、社会性を養う	4 月～翌年 3 月の月火木金	亀岡市 南丹市 京丹波町 京都市	5 名	南丹市 京都市
みんなで寺子屋（無料・有料）	勉強につまずきがある子が反復して基礎学力を身に付ける	4 月～翌年 3 月の　月火木金(有料は木金の放課後)	亀岡市	2 名	亀岡市 南丹市 向日市
プレイセッション(無料・有料)	感覚統合遊具を使い体の使い方やコミュニケーションを学ぶ	4 月～翌年 3 月の 3～4 回	亀岡市	2 名	亀岡市 南丹市 京都市 向日市 綾部市
キミの応援団プロジェクト	思春期以降のお子さんの課題に対応する対話型プロジェクト	4 月～翌年 3 月	亀岡市	1 名	亀岡市 南丹市 京都市 向日市
個人セッション	発達課題のあるお子さんのマンツーマンレッスン	4 月～翌年 3 月	亀岡市	3 名	亀岡市 南丹市

					京都市 向日市 綾部市
小集団セッション （未実施）	小集団で応用行動分析学を用いた遊びやSSTを通してみんなと活動するのが面白いと感じるように、適切な支援を受けながら成功体験を積んでいく	-	-	-	-
セッションコンサルティング	親子での遊びや学習障害等の困りのあるお子さんを対象に、初期学習課題のやり方を保護者にレクチャーし、家庭で取り組んでもらう	4月～翌年3月	亀岡市	1名	亀岡市 南丹市 京都市 向日市
視機能検査・報告・トレーニングプラン作成（未実施）	眼球運動、市認知、原子反射の検査を行い、検査結果をもとにトレーニング内容を作成し取り組んでもらう	-	-	-	-
発達コンサルティング	お子さんの発達や特性を分析。応用行動分析学により困りに対する課題提示とレクチャーを受ける	4月～翌年3月	亀岡市	1名	亀岡市 南丹市 京都市 向日市 綾部市
カウンセリング	お子さんの困りやつまずきを整理し、関わり方の方向性を一緒に考える	4月～翌年3月	亀岡市	1名	亀岡市 南丹市 京都市 向日市
アドバイザリー契約（未実施）	問題解決に向かって、やり方を繰り返しながら細かく行動の仕方のレクチャーを受ける	-	-	-	-
講座 “気になる子”への関りがぐっと楽になる！～神経発達省支援の視点から学ぶサポートのヒント	子育て、特に発達障害等の困りを持つ子どもへの関わり方について学ぶ（対象：親御さん、支援者さん）	4月～翌年3月	亀岡市	3名	亀岡市 南丹市 京都市 向日市
ひとり親家庭の子どもの居場所づくり事業	夏休みオープンスクールと週1回放課後の居場所づくりを設定し、学習支援、相談支援、生活支援、交流活動、宿泊体験、地域連携、保護者向けの座談会、その他課外活動を行った。 また、ひとり親家庭への物資配布を行った。	7月～9月	亀岡市 南丹市	5名	亀岡市 南丹市 京都市 向日市
自立学習習得支援事業（未実施）	家庭学習の中で適時親御さんのフォローを受けながら自分で習得できるようなカリキュラム提供を行う。				

集中介入	環境と家族関係を見直し、再構築することを目的とした集中型プログラム		京都市 亀岡市	2 名	京都府 亀岡市

3．助成金に関する報告

I. 京都府　引きこもり状態にある者のための社会参加支援事業補助金　840,000 円

フリースクール事業の引きこもりサポートコースとして、引きこもり又はそれに準ずる状態にあるものの社会参加の第一歩目となる居場所づくりと、彼らの活動の安定を図る事業を行った。

II. 京都府地域交響プロジェクト交付金　2,200,000 円

「多様な学びとつながりの場づくりプロジェクト」

京都府内の専門家や地域団体と連携し、日中・放課後・休日の多様な体験活動を定期的実施し、交流と学びの機会を提供した。

III. 亀岡市　ふるさと亀岡まちづくり応援交付金　466,000 万円

「不登校・引きこもり・発達障害等の困りのある子及びその兄弟たちへの支援活動の充実とその社会啓発」

IV. きょうとこどもの城づくり事業　2,310,903 円

ひとり親家庭の子どもの居場所づくり事業夏休み等短期型実施に係る運営業務（122 万 8000 円）

宿泊体験（100,000 円）

開設準備業務（922,930 円）

特別体験活動支援事業（60,000 円）

V. ひとり親家庭の子供の居場所を通じた食料品・生活必需品当配布事業に関わる運営業務

147,000 円

助成金・交付金の総額　5,963,930 円